

宮崎県学校体育研究発表大会沿革概要

1 宮崎県学校体育研究会沿革

(1) 設立

1960（昭和35）年

(2) 沿革

当初の研究会は、小・中・高等学校教育研究会の保健体育部会を母体として、県教育委員会の指導により活動が始められる。

1960（昭和35）年各部会ごとの第1回県保健体育研究協議会が開催される。

1964（昭和39）年学校数の増加に伴い会員が多くなり、県大会の規約が制定される。この年に本県で初めて九州地区学校体育研究発表大会が開催される。

1972（昭和47）年組織的研究体制の充実を図るため、事業の計画立案と研究活動の分立等の共通理解が深まる。そして、県教育委員会依存の姿から主体性を持って歩き出すことになる。事務局を県高等学校体育連盟の中に位置づける。本県で2回目となる第11回九州地区学校体育研究発表大会を開催する。

1973（昭和48）年各部会ごとの研究協議会を1つにまとめ、宮崎県学校体育研究発表大会として開催する。

1976（昭和51）年会員を一同に集め、小・中・高等学校における公開授業（系統的授業）が発表される。

1981（昭和56）年本県で3回目となる第20回九州地区学校体育研究発表大会が本県で開催され、「系統的授業」を発表し、堅実な実績が大きな賛辞を得る。

1984（昭和59）年第23回全国学校体育研究大会特殊教育部会において、研究発表の機会を得る。

1987（昭和62）年第28回県学校体育研究発表大会からは、「系統的授業」（同一種目での授業）が見直され、「つながりのある学習」（種目を変えての授業）として発表される。

1988（昭和63）年本県で4回目となる第27回九州地区学校体育研究発表大会を開催する。

1990（平成2）年事務局が県高等学校体育連盟から独立し、小・中・高等学校持ち回りの事務局として設置される。

1996（平成8）年本県で5回目となる第35回九州地区学校体育研究発表大会を開催する。

2000（平成12）年第41回県学校体育研究発表大会を、次年度本県で開催される第40回全国学校体育研究大会のリハーサル大会として開催する。

2001（平成13）年第40回全国学校体育研究大会並びに平成13年度全国学校体育研究協議会を本県で開催する。

2003（平成15）年再び事務局を県高等学校体育連盟に置く。

2007（平成19）年従来2日間で開催されていた大会を1日開催・2日開催の隔年実施とする。

2009（平成21）年第50回県学校体育研究発表大会を開催する。

2012（平成24）年本県で6回目となる第51回九州地区学校体育研究発表大会を開催する。

2013（平成25）年大会開催地区の役員へ閉会行事にて感謝状授与をするようになる。

2014（平成26）年1日開催大会にて各部会の授業1コマを「つながりある研究」の授業発表の場に統一する。

2015（平成27）年幼稚園部会立ち上げに向けて市立幼稚園連合会に大会参加の呼びかけを行い4名の幼稚園教諭が参加。

（3）研究会の構成組織

- 宮崎県小学校体育連盟
- 宮崎県中学校体育連盟
- 宮崎県高等学校体育連盟
- 宮崎県特別支援学校教育研究会保健体育科代表者部会

（4）研究の事業概要

- 宮崎県学校体育研究協議会
1960（昭和35）年（1回）～1972（昭和47）年（13回）
- 宮崎県学校体育研究発表大会
1973（昭和48）年（14回）～2015（平成27）年（56回）

（5）歴代会長・理事長

【会長】

- 初代 太田 俊夫（元県立宮崎南高等学校校長）
昭和46年4月～47年3月
- 2代 服部 七郎（元県立宮崎南高等学校校長）
昭和47年4月～52年3月
- 3代 濱田 宣弘（元県立宮崎南高等学校校長）
昭和52年4月～56年3月
- 4代 有馬 一男（元県立宮崎南高等学校校長）
昭和56年4月～58年3月
- 5代 高山 義孝（元県立宮崎南高等学校校長）
昭和58年4月～63年3月
- 6代 松田 義信（元県立宮崎南高等学校校長）
昭和63年4月～平成2年3月
- 7代 増田 義一（元宮崎市立西池小学校校長）
平成2年4月～3年3月
- 8代 福島 啓而（元宮崎市立潮見小学校校長）
平成3年4月～5年3月

- 9代 樋口 駿 (元宮崎市立西池小学校校長)
平成5年4月～7年3月
- 10代 西田 豊 (元宮崎市立東大宮中学校校長)
平成7年4月～8年3月
- 11代 村中 晴朗 (元宮崎市立櫛中学校校長)
平成8年4月～9年3月
- 12代 松井 利一 (元県立日南農林高等学校校長)
平成9年4月～10年3月
- 13代 外山 方國 (元県立小林高等学校校長)
平成10年4月～12年3月
- 14代 竹村 義政 (元県立盲学校校長)
平成12年4月～14年3月
- 15代 阿部 勝也 (元県立宮崎海洋高等学校校長)
平成14年4月～15年3月
- 16代 帖佐 利昭 (元県立宮崎南高等学校校長)
平成15年4月～18年3月
- 17代 丹生 進一 (元県立富島高等学校校長)
平成18年4月～19年3月
- 18代 坂口 和隆 (元県立佐土原高等学校校長)
平成19年4月～21年3月
- 19代 黒木 健 (元県立小林商業高等学校校長)
平成21年4月～平成22年3月
- 20代 笠野 謙次 (元県立宮崎海洋高等学校校長)
平成22年4月～平成23年3月
- 21代 川井田 和人 (元県立振徳商業高等学校校長、元県立宮崎商業高等学校校長)
平成23年4月～平成27年3月
- 22代 日高 和典 (元県立本庄高等学校校長)
平成27年4月～平成28年3月
- 23代 河野 敏史 (元県立延岡青朋高等学校校長)
平成28年4月～

【理事長】

- 初代 内之倉忠男（元県立宮崎南高等学校教諭）
昭和46年4月～56年3月
- 2代 大岐 義之（元県立宮崎南高等学校教諭）
昭和56年4月～58年3月
- 3代 坂元 平（元県立宮崎南高等学校教諭）
昭和58年4月～63年3月
- 4代 松井 利一（元県立宮崎南高等学校教諭）
昭和63年4月～平成2年3月
- 5代 崎山 実（元宮崎市立小松台小学校教諭・元宮崎市立宮崎港小学校教諭）
平成2年4月～5年3月
- 6代 黒木 政治（元宮崎市立生目台東小学校教諭）
平成5年4月～7年3月
- 7代 柚木 幹男（元宮崎市立宮崎西中学校教諭）
平成7年4月～9年3月
- 8代 竹村 義政（元県立宮崎北高等学校教諭）
平成9年4月～10年3月
- 9代 岡田 宏規（元県立宮崎北高等学校教諭）
平成10年4月～12年3月
- 10代 甲斐 文一（元県立宮崎西高等学校教諭）
平成12年4月～14年3月
- 11代 倉本 克則（元県立宮崎大宮高等学校教諭）
平成14年4月～15年3月
- 12代 藤崎 公哉（元県立宮崎南高等学校教諭）
平成15年4月～16年3月
- 13代 佐多 裕之（元県立宮崎南高等学校教諭）
平成16年4月～18年3月
- 14代 長友 寧雄（元県立宮崎南高等学校教諭）
平成18年4月～20年3月
- 15代 秋田 義久（元県立宮崎南高等学校教諭）
平成20年4月～平成24年3月
- 16代 河野 敏史（元県立宮崎南高等学校教諭）
平成23年4月～平成24年3月
- 17代 岩切 正義（元県立宮崎南高等学校教諭）
平成25年4月～平成26年3月
- 18代 木宮 浩二（元県立宮崎南高等学校教諭）
平成26年4月～平成28年3月
- 19代 三浦 徹也（元県立宮崎南高等学校指導教諭）
平成28年4月～